

平成28年6月10日(金)

・農業政策課

農業参入・経営戦略推進室

担当：家元(4636)、直通：076-225-1660

・(公財)いしかわ農業総合支援機構

担当：荒井

直通：076-225-7621

## 第41回いしかわ農業振興協議会総会の開催について

- 1 日 時 平成28年6月13日(月) 14:00~15:15
- 2 場 所 石川県農林総合研究センター第1会議室  
(金沢市才田町戊295-1)
- 3 会長挨拶  
いしかわ農業振興協議会会長 野村善覚
- 4 来賓祝辞  
石川県知事 谷本正憲  
石川県議会議長 宮下正博
- 5 中核農家経営改善・事業多角化及び地域農業振興共励会表彰式(受賞者 別紙)
- 6 会長感謝状贈呈式(被交付者 別紙)
- 7 議 事  
第1号議案：平成27年度事業報告及び収支決算報告承認の件  
第2号議案：平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件  
第3号議案：役員を選任の件
- 8 参集者 会員等150名
- 9 事務局  
(公財)いしかわ農業総合支援機構 担当 荒井 TEL(076)225-7621

(参 考) 総会に引き続き「記念講演」(15:30~17:00)を開催

演題：「進化する石川農業を支える技術開発研究」

講師：石川県農林総合研究センター

所長 島田義明氏

## 中核農家経営改善・事業多角化及び地域農業振興共励会受賞者名簿

## (1) 経営改善・事業多角化共励会

## 【優秀賞】

(ふりがな) 受賞者氏名	経営面積等	受賞理由
株式会社北ファーム  代表 きた たかよし 北 貴良  金沢市	水稻 70.0ha 大麦 46.0ha 大豆 54.6ha レンコン 1.3ha スイカ 0.4ha	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集積した農地でブルドーザー等によるほ場の造成・レーザーレベラーでの均平化を行い、ほ場の大区画化、機械作業の効率化を図り、適期作業の実現による収量の安定化を実現。</li> <li>・日本最大級の汎用コンバイン等を導入し、スケールメリットを最大限に活かした大規模経営に取り組む。</li> <li>・雇用の周年作業の確保や米価下落による経営リスク分散のため、レンコン栽培、水稻での極早生や晩生の多収性品種の導入、大豆での加工適性の高い品種への切替えを実施。</li> </ul>
有限会社ながせ  代表 ながせ きよたか 長瀬 清隆  羽咋市	水稻 29.3ha 加工用米 7.5ha 飼料用米 1.0ha 大麦 1.5ha ハトムギ 1.4ha そば 0.6ha ねぎ 0.2ha	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でいち早く法人化し、高性能機械の導入や品種構成の工夫による作期分散により作業の省力化、効率化を実現し、家族間での役割分担により、家族労働力のみでの収益性の高い経営。</li> <li>・湿田の排水対策を徹底し、大麦、ハトムギ、ねぎ等の導入や飼料用米にも取り組み、収益力の強化を図る。</li> <li>・有利栽培に向け、コシヒカリ全量を特別栽培米や能登米(エコ米)に変更し、高品質米の生産と環境保全型農業の両立を果たす。</li> <li>・能登米生産者協議会の会長に就任し、生産拡大や地元飲食業での利用などPR活動に精力的に取り組む。</li> </ul>

【奨励賞】

(ふりがな) 受賞者氏名	経営面積等	受賞理由
有限会社あさひ  代表 ふくだ まさのり 福田 正則  白山市	水稲 54.2ha 麦 3.2ha 大豆 21.0ha 飼料 2.1ha 飼料用イネ 6.4ha	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の大規模農家を中心とした法人設立後、地域農地の受け皿として水稲・大麦・大豆の2年3作体系を基盤とした規模拡大を図り、コスト低減、排水対策などの実施により生産性向上を図り、経営の安定化に取り組む。</li> <li>・ JA への出荷や近隣の農業法人との契約出荷により自前の乾燥調製施設を持たないなど大型投資を抑え、ハウス・農機の修繕や機械改良を自前で実施。</li> <li>・ 近隣農業法人との契約栽培による人気品種の作付など付加価値の高い米の生産に取り組み、安定価格取引を拡大。</li> <li>・ 耕畜連携にも取り組み、デントコーン、WCS の生産により、近隣畜産農家への飼料供給を行うほか、地域の有機センターで製造された堆肥を用いた土壌改良など、地域の資源循環に貢献。</li> </ul>

(2) 地域農業振興共励会

【優秀賞】

(ふりがな) 受賞者氏名	経営面積等	受賞理由
JA 加賀ブロッコリー 部会  代表 やまぐち ただかず 山口 忠和  加賀市	ブロッコリー  65.9ha	<ul style="list-style-type: none"><li>・水稲との作業競合が少ないブロッコリーを複合経営品目として導入し、水稲農家の所得確保と地域農業の振興に努力。</li><li>・部会員は地域の担い手として地域の農地を積極的に引き受け、ブロッコリーの栽培に取り組むことで耕作放棄地の発生を未然に防ぎ、地域の農業や農地の維持に貢献。</li><li>・経験が浅い者に対し、地区ごとにベテラン農家が教える体制を整え、地域の担い手や後継者確保に貢献。</li><li>・加賀市内全域の小学校を対象に出前講座や収穫体験の実施、給食担当者を招いた栽培見学会の開催など、食育・地域農業の理解促進に取り組む。</li></ul>

【奨励賞】

(ふりがな) 受賞者氏名	経営面積等	受賞理由
有限会社北海道ワイン能登ヴァンヤード  代表取締役 しまむら きみひろ 畠村 公宏  鳳珠郡穴水町	醸造用ぶどう  15.9ha	<ul style="list-style-type: none"><li>・ぶどう栽培に不利な奥能登地域において品種選抜や土壌改良による生産安定に取り組み、能登産ワイン原料の中核的な担い手として、その技術やノウハウを地域に波及させ、醸造用ぶどうの安定供給に貢献。</li><li>・穴水町の農地開発地で栽培に取り組み、農地の有効利用を図り、耕作放棄地の活用促進に努める。</li><li>・農業インターンシップ事業や雇用事業を活用し、農外や地域外からの参入希望者を受け入れ、自社の後継者育成や能登への定住のきっかけづくりに努力。</li><li>・いしかわ農業振興協議会の活動や穴水町の町おこし研究会にも積極的に参画し、イベント開催など地域の観光開発に協力支援。</li></ul>

(別紙)

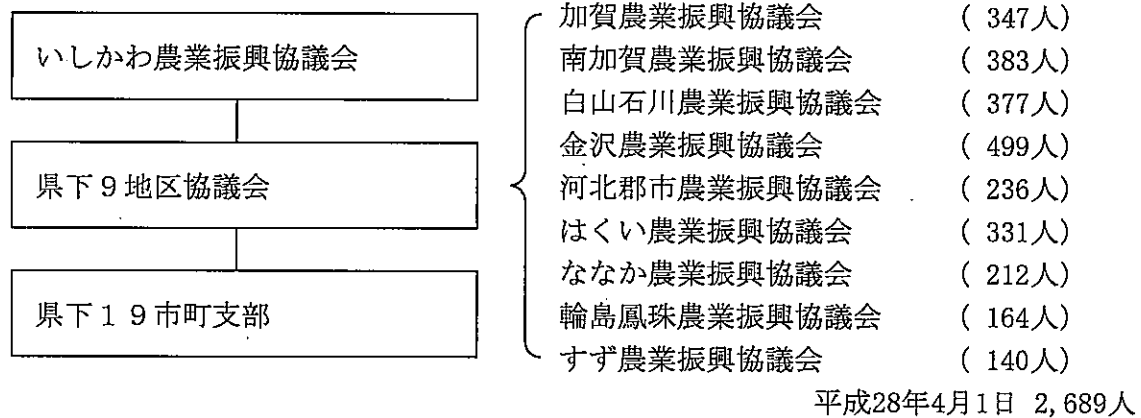
## 平成28年度会長感謝状被交付者一覧

地区協議会名	ふりがな 氏名	住所
加賀	はいや のぶたか 灰谷 信孝	加賀市
白山石川	なかにし たかし 中西 高志	白山市
白山石川	やまもと きよみ 山本 清美	白山市
白山石川	こじま としえ 小島 敏枝	野々市市
金沢	なかい としこ 中井 敏子	金沢市
金沢	いちはら としひろ 市原 俊廣	金沢市
はくい	つちはし きよのり 土橋 清紀	羽咋郡志賀町
ななか	みなみ しょうえい 南 昭榮	鹿島郡中能登町
輪島鳳珠	たばた しげはる 田畑 繁治	鳳珠郡穴水町
すず	せと たづこ 瀬戸 たづ子	珠洲市
すず	やち ようこ 谷内 羊子	珠洲市

## いしかわ農業振興協議会の概要

- 1 いしかわ農業振興協議会は、県下9地区の地区協議会で組織され、昭和51年12月に石川県中核農家連絡協議会として発足した。

発足後、協議会を取り巻く状況が大きく変化したことにより平成19年に組織の見直し（会員の範囲を拡大、部会制度の導入等）を行い、それにあわせ名称変更を行った。



- 2 いしかわ農業振興協議会役員（平成26～27年度）

会 長	野 村 善 覚	(小松市)
副 会 長	中 村 長 一 郎	(加賀市)
副 会 長	土 橋 清 紀	(志賀町)
副 会 長	中 村 龍 吉	(珠洲市)
副 会 長	中 井 敏 子	(金沢市)
女性部会長	松 本 外 志 子	(津幡町)

(平成28年6月13日改選予定)

- 3 主要行事（平成28年度予定）

(1) 総 会（6月13日：石川県農林総合研究センター）

(2) 知事との現地懇談会（11月中旬：河北郡市地区）

(3) 研修活動

・全国担い手サミット参加（11月10・11日：岐阜県）

・研究発表大会（平成29年2月）

経営改善・事業多角化及び地域農業振興の事例発表

(4) 農林漁業まつり（10月上・中旬）

・地区協議会単位での農産物の展示等